

令和3年度の各団体の取組一覧

資料3

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
1	上越商工会議所	A-2-1	身の丈にあった使いやすいAI・IoT等の活用支援	-	<p>①ORAJA様に協力頂き、小さくはじめるDXセミナーを開催した。 表題 小さくはじめるDXセミナー 日時 R3.7/13(火)14:00-15:30 会場 上越商工会議所、及びZoomウェビナー 人数 30人(リアル:11人、オンライン19人)</p> <p>②事業PRプチ補助金を創設し、創業間もない事業者へのデジタル化推進、事業継続に向けた支援を行った。 実施件数 6社 支出費用 3万円×6社</p> <p>③上越商工会議所青年部・工業振興委員会にて、5G活用事例に学ぶ! 体験する! と題したセミナーを開催した。 表題 5G活用事例に学ぶ! 体験する! セミナー 日時 R3.10/19(火) 会場 ローカル5Gラボ@上越妙高「JM-DAWN」 人数 23人</p>
2	上越市商工会連絡協議会	A-1-1 A-1-3	経営発達支援事業	<p>地域資源を活用した特産品開発・観光振興では、地域住民からも積極的に参画していただき、自分たちの地域資源であるとの認識を深めてもらい商品等のファンとなってもらう。開発段階から販売面に踏み込み継続的的事业経営スタイルを確立する。近隣と連携することで、具体的販売実績に結びつけていく。 イベント等により地域コミュニティの再構築と近隣との連携による販売促進支援により商工会員の事業機会を創出していく。</p>	<p>地域内事業者の持続的発展のため経営計画策定の支援並びに計画策定者のフォローアップを実施してきました。 また、コロナ禍にあり「新型コロナウイルス感染症対策経営相談窓口」を設置し、国・県・市等の各種支援策のPRや申請支援を通じ事業継続の個別指導を実施してきました。 さらにはWithコロナへの対応として頸北地区では積極的に新潟伊勢丹・ながの東急との商談会や催事に感染対策を取って参画したり、商品リーフレットを作成する等の販路開拓支援を実施してきました。</p>
3	えちご上越農業協同組合	A-1-4	農業後継者雇用制度の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者の育成を目的に、就農希望者を対象にJAでの業務や研修を通じて営農技術と経営知識を習得してもらう。 ・JA内各部門の勤務通じ、知識の習得と農業分野の情勢把握や関係機関との人脈づくりが期待できる。 ・雇用契約(原則3年間)終了後、農業後継者として就農する。 	<p>農業後継者の育成を目的に、就農希望者を対象にJAでの業務や研修を通じて営農技術と経営知識を習得してもらう制度を創設。3年度の応募者は1名あり。</p>
4	えちご上越農業協同組合	B-2-1	若年層への食農講座	<ul style="list-style-type: none"> ・独身男女の出会いの場を提供するイベントを企画・実施。 ・地元野菜を使用したBBQや地産地消の料理実習などを企画する。(食と農に関する情報提供も併せて行う) ・独身男女の出会いの場としてマッチングも行う。 	<p>若者の出逢いの場の創出も含め、若年層への食育講座を企画し募集したが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から令和3年度は実開催を中止した。</p>
5	えちご上越農業協同組合	B-2-4	子どもへの食農教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生親子を対象とした親子教室や学校のPTC活動との連携による出前講座の開催。食農に関する理解を深めてもらうための内容を企画し、こどもの健全な成長に寄与する。 	<p>小学生親子を対象に食農対象教室「ちゃぐりん」道場を年3回実施し、地域農業への理解促進を図った。</p>
6	えちご上越農業協同組合	A-1-4 C-2-1	消費者参加型体験・視察ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者による農業の現地圃場巡回や農作業体験ツアーの実施。 	<p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施を見合わせた。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
7	えちご上越農業協同組合	A-1-4	新規就農希望者向け農業体験	<ul style="list-style-type: none"> ・当地域に就農する意欲ある人を対象に、農業農人等各組織と連携し農業体験機会を提供する。 ・水稲、園芸、畜産等参加希望者に沿った体験内容を用意し、1回の体験を概ね3日～1週間程度とし、年2回程度体験できる人を募集する。 ・新規就農者の受入れを希望する法人等経営体と連携し、就農受入れ先を確保する。 <p><農業体験のメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業の実体験ができ、作物に対する関心が高まり、やりがいを感じるにより就農に向けたイメージが立てられる。 ・プロの農家から栽培技術や飼育方法など直接指導を受け、農業知識と経営の助言を受けることができる。 ・農業開始時にはJAの総合事業(営農指導、生産資材、農業機械、農業資金)での極め細やかな相談を受けることができる。 	新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施を見合わせた。
8	上越公共職業安定所	A-2-2 B-1-1	子育て女性に対する再就職支援の推進	<p>○再就職支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て女性等に「マザーズコーナー」を周知し利用の促進を図る。 ・各種子育て支援サービス等に関する情報提供の実施。 ・求職者ニーズを踏まえた担当者制による就職支援の実施。 ・子育て女性等を対象としたセミナーの開催。 ・新潟県、上越市等の関係者による協議会を開催し、総合的な支援の実施。 	関係機関による「子育て女性等の就職支援上越地域協議会」を7月に開催し、マザーズコーナー等の周知を行った。また、再就職希望者に対してマザーズ再就職支援セミナーを11月に開催し、就職支援を行った。
9	上越公共職業安定所	A-2-1 D-1-1	U・Iターン希望者に対する就職支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. U・Iターン希望者へ、にいがたUターン情報センターと連携した就職支援を実施 2. U・Iターン希望者に対して、ハローワークの全国ネットワークシステムを活用した就職支援の実施。 	<p>県との一体的施設「にいがた暮らし・しごと支援センター」と連携し、ハローワークシステムを活用した求人情報や上越地域への就職に関する各種情報を提供するほか、職業相談・職業紹介による就職支援を行った。</p> <p>また、ハローワーク庁舎内にある「Uターン情報コーナー」において、同センターの周知を行うとともに、上越市ふるさと暮らし支援センターとの連携によるU・Iターン就職の促進、定住促進を図るための情報提供を行った。</p>
10	上越公共職業安定所	A-2-1 D-1-1	新規学校卒業予定者に対する就職支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校卒業予定者に対する就職支援 <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校と連携した個別就職相談の早期実施 ・応募前企業説明会の実施 ・高等学校と連携した就職後の職場定着支援の実施 2. 大学等卒業予定者に対する就職支援 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等就職WEB提供サービスの活用 ・郷土就職ゼミナールの開催 	<p>○高等学校卒業予定者に対する就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校と連携し、就職希望者と就職支援ナビゲーターによる講話や個別相談を実施 ・上越市との共催により、令和3年7月に管内企業と就職希望者による応募前企業説明会を開催。新型コロナウイルスの影響により参加企業数を縮小(70ブース74社)し、生徒も午前午後の2部制にして密を避けて実施。 ・昨年好評だった企業ガイドブック(159社+2官公庁掲載)を700冊作成。 ・就職内定済の3年生に対し、ビジネスマナーや社会人として心構えを身につけるための社会人準備セミナーを令和3年1月2月に3回実施。(5校81人参加) <p>○大学等卒業予定者に対する就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、専門学校への出張就職相談の実施。 ・求職登録学生等に対し、大学等就職WEB提供サービスの活用を周知。 ・上越商工会議所と連携し、令和4年3月24日に令和5年3月卒および既卒3年以内の者を対象に大卒等合同企業説明会を実施予定。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
11	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 中 日本農業研究セン ター 上越研究拠点	A-1-4 A-2-1	新品種・新技術によ る地域農業の競争 力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市やJA越後上越等、関係機関との連携のもと、水稻や大麦などの新品種の普及、加工利用促進の活動を実施する。 ・水稻の低コスト生産技術、大豆や飼料米の生産技術等々、水田農業に関わる新技術について、技術指導等の活動を積極的に実施する。 ・農業者、消費者向けの農業イベントとして、「農研機構マッチングフォーラムin北陸」を開催し、北陸地域農業の活性化、競争力強化に繋がる活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北陸農業に適した水稻、大麦、大豆品種の開発を継続。 ○業務用に適した水稻品種、米麵用の水稻品種等について、上越市やJAえちご上越等と連携し、研修会・研究会等を通じて普及拡大を図った。 ○水稻の低コスト生産技術、大豆や飼料米の生産技術等々、水田農業に関わる新技術について、技術指導・相談等の活動を実施した。
12	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 中 日本農業研究セン ター 上越研究拠点	A-1-4 C-2-1	農業と科学技術に対 する市民理解の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・農業試験研究機関の社会貢献的な活動として、小学生を対象とする「食と農の科学教室」の開催に取り組む。同様に、農業高校生、農業者、農業関係者等を中心とした学習・見学対応にも積極的に取り組む。 ・広く一般市民向けのイベントとして、一般公開を開催し、研究成果の展示、講演会、育成品種の試食、実験・体験等の企画を通じて最新の農業技術に関する情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年、農業関係者、消費者等の一般市民に対する、農業技術に関する情報提供活動の一環として、「食と農の科学教室」(小学校5年生対象、18校520名が参加)を実施した。
13	新潟県上越地域振 興局	B-2-2	生涯を通じた女性の 健康支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○女性が抱える様々な健康に関する相談の窓口(電話及び来所) ○普及啓発 ・ホームページ、市の広報、地元新聞等を通じて正しい知識の普及啓発 ○検討会を開催し、関係機関のネットワークを構築するとともに事業を実施する 	<p>女性が抱える様々な健康に関する相談に対し保健師等、専門職が対応した。</p> <p>高校生の講演会、事業所における健康講座等を活用して、正しい知識の普及啓発を行った。</p>
14	新潟県上越地域振 興局	B-2-2	不妊に悩む方への 特定治療支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○助成の対象となる方 ・特定不妊治療を受けた法律上の婚姻をしている夫婦であって、次の(1)～(3)の全てに該当する場合。 <ul style="list-style-type: none"> (1)特定不妊治療以外の治療法によっては、妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと医師に診断された方 (2)夫又は妻のいずれか一方又は両方が新潟県内(新潟市を除く)に居住している方 (3)治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である方 ○対象となる治療 ・新潟県知事が指定した医療機関で行う体外受精及び顕微授精(凍結胚移植を含む。)です。 医師の判断に基づき、やむを得ず治療を中止した場合についても、卵胞が発育しない等により卵子採取以前に中止した場合を除き、助成の対象となります。 ○申請の方法など ・助成内容や回数及び申請書類等は、上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課にお問い合わせの上、申請してください。郵送による申請も受け付けています。 	<p>窓口への持参及び郵送での申請に対して申請書類等を受理し、該当基準に併せて内容を確認する等、適正に書類を進達した。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
15	新潟県上越地域振興局	B-2-2	こころと身体の健康相談	<p>こころと身体の健康不安に関わる相談を無料で受けています。</p> <p>○電話相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応時間: 平日8時30分～17時15分 ・電話番号: 025-524-6132(地域保健課直通) <p>○来所相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応時間: 平日8時30分～17時15分 ・面接での相談対応は、原則として、事前の予約が必要です。 	相談に対し、専門職(保健師・管理栄養士・精神保健福祉相談員等)が相談に応じた。
16	上越教育大学	C-2-1 C-2-2 D-3-2	公募型地域貢献事業	<p>「組織的な地域交流」「地域貢献」につながる事業や「地域の活性化」「地域振興」につながる事業を「公募型地域貢献事業」(以下、本事業。)として、学内の教員から各種事業を募集・実施することで、本学教員の教育・研究成果を広く地域社会に還元する。また、事業の企画にあたっては、その内容や成果等が本学学生に反映できるものであることのほか、本学学生以外の学外者(学校・教育関係者や地域住民等)が参加できるものであることを求める。</p> <p>なお、本事業は、毎年度、学内の教員から各種事業を募集し、別途定める審査基準により審査・採択する。</p>	<p>上越市における課題の解決や地域の活性化に資する各種事業を学内で募集し、「障害のある人でも暮らしやすいまちづくり」、「中山間地域の課題解決」、「統合される学校の教育支援」等を推進する地域貢献事業として下記7事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上越地域のエネルギー環境教育の推進とそれに関わる地域ネットワークづくり ②遠隔システムの活用による学校統合に向けた授業支援 ③男女共同参画社会の構築に向けた教育課題・地域課題の探究 ④大学・学校・地域連携型の学習支援活動のモデル事業 ⑤上越地域難聴児支援事業 ⑥みんながくらす みんなでくらす を考える ーバリアフリーマップアプリ(WheelLog!)×分身ロボット(OriHime)を使ってー ⑦「地域資源」を中心に据えた授業を総合的に展開するためのアーカイブの創出

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
17	上越教育大学	C-3-2 D-3-2	外国人留学生の雪国宿泊体験(スキー等を含む)による上越市の国際化推進事業	<p>スキー発祥の地である上越市の地域性を生かし、ほとんどスキーをしたことのない外国人留学生に宿泊を伴うスキー等の体験を通して、冬の上越市の魅力に気付かせる。</p> <p>その魅力を参加した外国人留学生の出身国の人々や友人である他の外国人留学生等に情報発信してもらうことにより、上越市の国際化を推進するとともに、地域の活性化に資する。</p> <p>なお、具体的な情報発信の方法として、次のような取り組みを予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越教育大学のホームページにおいて事業内容を掲載することで、海外の交流協定締結大学の学生に上越市の魅力を広く紹介する。 ・留学生から、本事業を通して知ることができた上越市の魅力について、SNS、メール、口コミ等により、広く紹介してもらうよう働きかけを行う。 ・上越市のまち・ひと・しごと創生推進協議会のSNSページを活用させていただき、事業内容を紹介する。 ・本年度新たに作成したホームページの「上越教育大学留学生ネットワーク」に本事業におけるスキー等の情報を掲載する。 <p>昨年度は、本学に在学している留学生から情報を発信してもらっていたが、このホームページは、本学を修了した留学生に対して情報発信をするもので、本国に帰国した留学生に見てもらうことで広く海外に紹介する。</p> <p>・本学に在学している留学生については、毎年、修了生と新生により入れ替わりがあり、本年度は新生として20人程度の留学生が入学した。</p> <p>このことにより、昨年度とは異なる留学生が参加することで、情報発信の幅が広がり上越市の魅力を新たに紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した留学生にアンケートを行い、本事業の魅力的なところ及び外国人留学生の目線から見た上越市の魅力的なところや意見等を記載してもらい上越市の国際化推進の参考としていただく。 <p>収集したアンケートについては、集計を行い上越市に提出する。</p>	<p>平成30年度、令和元年度の2年にわたり「上越市地方創生推進事業補助金」を活用し、安塚区のキューピットバレイにてスキー体験・宿泊体験を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。今年度も当該補助金申請時期までに実施の有無が決まらなかったため申請ができず、結果として学内予算の範囲内での実施が可能な日帰りでのスキー体験となり、雪国宿泊体験を実施できなかった。</p>
18	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	市民公開講座及び上教大との連携公開講座	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公開講座 「小児肝移植から学んだこと」をテーマに、著名な学識者を講師に招く。参加費無料、参加者約270名(令和元年度実績) ・看護大・上教大連携公開講座 「長寿の秘訣！健康で豊かに生きる」をテーマに、両大学の教員各2名が講師を務める。参加費無料、参加者約140名(令和元年度実績) 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民公開講座 「日本の社会経済格差と子どもの食・栄養」をテーマに、新潟県立大学から講師を招き、114名が参加した。 ○看護大・上教大連携公開講座 「長寿の秘訣！健康で豊かに生きる」をテーマに、両大学の教員各2名が講師を務め、89名が参加した。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
19	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	いきいきサロン	<p>全6テーマで実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰痛症 そんなに心配しなくても大丈夫ですよ ・リラックスできる温泉の入り方・選び方 ・知っておきたい耳、鼻、のどの病気とその対策 ・これならできそう 運動療法 ～糖尿病予防 できることからはじめましょう～ ・ストレッチを活かした豊かな暮らしについて ・認知症になっても笑顔で暮らしたい <p>講師は本学教員の他、医療機関院長等が務める。 参加費無料、参加者各100名前後(令和元年度実績)</p>	<p>以下の全5テーマを実施し、講師は本学教員の他、医療機関院長等が務め、延べ365名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰痛症 そんなに心配しなくても大丈夫ですよ ・リラックスできる温泉の入り方・選び方 ・知っておきたい耳、鼻、のどの病気とその対策 ・ストレッチを活かした豊かな暮らしについて ・認知症になっても笑顔で暮らしたい
20	新潟県立看護大学	A-2-2 B-2-2 D-3-2	看護職学習支援公開講座及びバーチャルカレッジ	<p>看護職学習支援公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護応援トピックス 2コース ・看護研究支援 9コース ・看護実践現場に活かす 2コース <p>講師は本学教員の他、医療機関認定看護師等が務める。 参加費1,000～3,000円、定員各10名～80名</p> <p>バーチャルカレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用し、本プロジェクトホームページ上へ掲載された動画等の教材を用いて学習することができるプログラム。受講者の学びの場や時間を限定せず、インターネット環境さえあればいつでもどこでも繰り返し学ぶことができ、自分のペースで学習することができる。 ・参加費無料、ただし会員登録が必要 	<p>○看護職学習支援公開講座 全5コースをオンラインで開催し、講師は本学教員が務め、延べ92名が参加した。</p> <p>○バーチャルカレッジ インターネットを利用し、ホームページ上に掲載された動画等の教材を用いて学習することができるプログラムを提供した。</p>
21	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	出前講座	<p>一般向け全13テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いざというときに役立つ“子どものホームケア” ・認知症のこと知りたい ・薬物依存症 他 <p>看護職・介護職向け全6テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職・介護職のための緩和ケア講座 他 <p>講師は本学教員、講師料及び謝金等は不要、旅費を負担していただく。 実施件数22件、参加者延べ769名(R2.2.3現在)</p>	<p>上越市社会福祉協議会、公民館、保育園・幼稚園ほか全16回実施、延べ366名が参加した。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実施内容
22	上越信用金庫	A-2-2	上越市創業支援ネットワーク事業	<p>・当金庫が、上越市、上越商工会議所、日本政策金融公庫、地元金融機関5行(第四銀行・北越銀行・八十二銀行・大光銀行・新潟縣信用組合)と連携し、「上越市創業支援ネットワーク」(平成25年8月組成)を運営。行政や経済団体、金融機関などの情報、ノウハウを集約し、創業しやすい環境を整備しながら創業を促進することで、雇用の機会の創出を踏まえた地域経済の活性化に結びつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月2日(土)～11月13日(土) 創業塾の共催(毎週土曜日 全5日間) 於:上越商工会議所 3階大会議室 受講者43名(男性31名、女性12名) 「経営」「販路開拓」「財務」「人材育成」の4分野を学び、「創業計画書」を作成 ・令和3年12月10日(金) 上越市創業支援ネットワーク会議 於:上越市役所 4階会議室 12名参加 【内容】新型コロナウイルス感染予防に配慮した様式での創業セミナー開催に向けた企画立案 ・令和4年2月26日(土) 「創業セミナー」開催(オンライン形式) 第一部 選定講師による講演 第二部 創業者の体験談
23	上越信用金庫	A-1-1	上越地域連携プラットフォーム事業	<p>・当金庫が代表機関となり、上越商工会議所、新井商工会議所、糸魚川商工会議所、新井信用金庫、糸魚川信用組合の5機関と連携し、登録支援機関「上越地域連携プラットフォーム」(平成25年9月組成)を運営。専門家派遣、合同セミナーの開催、ビジネスマッチングの取組み、連携連絡会議の開催、合同研修会の開催等により、地域の支援機関が連携し、地域の中小企業・小規模事業者へのビジネス創造や経営改善・革新等のサポートを行うことで、地域経済の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年6月2日(水) 県よろず支援拠点事業関係機関連絡会議への参加 【内容】県の支援制度、支援事例紹介 ・令和4年1月13日(木) 上越地域連携プラットフォーム連携連絡Web会議 6機関参加 【内容】「事業承継セミナー」開催に向けた企画立案 ・令和4年2月17日(木) 「事業承継セミナー」開催 (オンライン形式) 上越市、中小機構関東本部、県事業引継ぎ支援センターとの共催 第一部 事業承継(M&A)全般の講義 第二部 事業承継の準備や進め方、上越地域での事例紹介
24	上越信用金庫	A-1-1 A-2-2	M&A業務に係る関連企業との連携事業	<p>・当金庫と地元の税理事務所2社の3者が、M&A等の案件の成約に向け、連携機関相互に協力をすることを目的とした業務提携に関する協定を結び、事業承継、M&Aに向けた支援について継続的にサポートを行うことで、地域経済の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケイワ総合マネジメント(株)、(株)経営ブレインサポートセンター、上越信用金庫の三者によるM&A業務の提携については、連携連絡会議を毎月開催し、案件情報の共有化、業務知識の向上を図っている。 ・三者連携連絡会議 (毎月第三金曜日開催) ・令和3年4月16日(金)、5月20日(木)、6月18日(金)、7月16日(金)、8月20日(金)、9月17日(金)、10月15日(金)、11月19日(金)、12月17日(金)、令和4年1月21日(金) 【内容】案件情報の共有、勉強会開催 (地域の支援者、(株)日本M&Aセンター、県事業引継ぎ支援センター等より講師招聘)

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
25	上越信用金庫	B-2-2 D-1-1	各種ローン等の円滑な提供	<ul style="list-style-type: none"> ・経済負担を考慮した金利優遇。 ・地域に就職する若年層、地元出身の新社会人、Uターン、Iターンへの新社会人や移住者(移住希望者)への支援。 ・あらゆる場面での円滑な資金提供を支援し、結婚、出産、子育てしやすい環境の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた取組みとして、あらゆる場面での各種ローン(カードローン、マイカーローン、教育ローン、ブライダルローン、住宅ローン等)の円滑な提供。 ・上越しんきん奨学ローン「ふるさと・未来応援団」の無利息証貸実行計上。 ・各種Web完結型ローンの実行計上。 ・令和4年1月31日SDGs応援融資「希望」の取扱い開始。本商品は地域の事業者のSDGsに対する取組みに必要な資金を金利優遇してご利用いただくもの。また、融資実行額の0.1%相当額の品を地域の子供に寄与する事業関連へ寄付することとなっている。
26	上越信用金庫	B-2-4 C-2-1 C-2-2	ふるさと絆プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域行事への積極的な参加。 ・小学生図画・版画展覧会の開催。 ・幼年野球への支援。 ・小・中・高校生の会社見学等の受入による金融リテラシー教育に係る活動。 ・上越市「中山間地域支え隊事業」への企業登録及びボランティア派遣による支援活動。 ・地域経済の景気動向調査活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間8回の作業部会を開催し、事業計画から推進、進捗管理を実施。 ・地域密着活動として14行事に対し、のべ235名が参加。 ・中山間地域支え隊活動への参加。 ・地域貢献事業として、地域の景気動向調査を4回実施。 ・6月15日の信用金庫の日に店舗周辺の一斉清掃、募金活動、献血運動、花いっぱい活動(種の配布)を実施。 ・金融リテラシー教育活動を市内5校に対し実施。 ・課題解決型金融への取組の一環として「イブニング相談会」を実施。 ※小学生図画・版画展については、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、中止とした。
27	上越信用金庫	A-1-1	地域の飲食店等のテイクアウト支援事業	—	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食関連事業者の売上確保を支援する目的で以下の取組みを実施。 ・当金庫のホームページ内に、「上越地域のテイクアウト情報」のページを増設し、テイクアウト関連バナーを集約(4先)して掲載した。 ・当金庫がホームページ上で地域の食に関する事業者の特産品を掲載している「ふるさと自慢」にテイクアウト情報に特化したページを増設し、テイクアウト情報の発信に取組んだ。 ・当金庫の各店舗に設置されたデジタルサイネージ(金利表示ボード)を活用し、テイクアウト情報の映像を放映し、来店されたお客様に情報発信を行った。 ・当金庫の全役職員によるテイクアウトの利用推進に取組んだ。(令和4年2月末時点で2,170食のテイクアウト利用実績)

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度 of 取組内容
28	連合新潟上越地域協議会	A-2-2 B-1-1	働くことを軸とする安心社会の実現	<p>具体的には、働く人の視点に立った5つの「安心の橋」を架ける運動に取り組むことで、活力にあふれ、自己実現に挑戦できる参加型社会を推進しています。あわせて、「働くことを軸とする安心社会」を支える基盤構築のために、地方分権を進め、公平な負担にもとづく持続可能な社会の構築をめざしています。</p> <p>①働くかたちを自由にする橋(ライフステージに応じた、柔軟でディーセントな働き方を整備する。)</p> <p>②失業と雇用をつなぐ橋(職業紹介、職業訓練、所得保障の一体的支援で、スムーズな復職をサポートする。)</p> <p>③家族と雇用をつなぐ橋(子育てや介護を社会全体で支え、男女平等参画社会を構築する。)</p> <p>④教育と雇用をつなぐ橋(「貧困の連鎖」を断ち切り、学ぶ場から働く場へ円滑に移行できる制度を確立する。)</p> <p>⑤退職と雇用をつなぐ橋(高齢者の知識や経験を社会に活かし、老後の安心を保障する制度を構築する。)</p>	<p>加盟組合員から日常生活をより良くするための要請を集約し行政へ提起する 全13項目 上越市へ3月8日午前 妙高市へ3月8日午後連合が推薦する新潟県議会議員ならびに上越市議会議員との議員活動報告会を実施 よりよい生活を目指した社会づくりについて意見交換 4月5日実施</p>
29	連合新潟上越地域協議会	A-2-2	労働何でも相談ダイヤル	<p>「なんでも労働相談ダイヤル」(フリーダイヤル0120-154-052)は、全ての労働者の悩みや様々な労働の問題(解雇・労働条件切り下げ・賃金不払い・有給休暇・ハラスメント等)の相談にのって、企業の一時的な都合で労働者の権利・利益が損なわれることを防ぐ。</p>	<p>相談実績(2021年4月～2021年9月末迄)</p> <p>心の悩み相談 8件 労働相談 1件</p> <p>令和3年10月より労働何でも相談ダイヤルは連合新潟が県下統一窓口となった。これにより上越地協での受付は9月末日をもって終了。</p>
30	連合新潟上越地域協議会	C-2-1 C-2-2 D-3-1	若者まちづくり参加	—	<p>さくらボと上越地協青年女性員会三役との意見交換会開催 6月18日</p> <p>さくらボ主催のイベントへ参加 9月18日 しくじり中学校</p>
31	上越市町内会長連絡協議会	C-2-2	町内会長まちづくりの集い	<p>○地域コミュニティの核である町内会を代表する町内会長に対して、地域づくりに関する情報を提供し、市とともに地域づくりを進める意識の醸成を図ることを目的に、平成23年度から市と上越市町内会長連絡協議会の共催事業として実施している。</p> <p>・令和元年度は7月10日に開催し、参加者は625人(町内会長474人、町内会役員など151人)であった。</p> <p>○実施内容(基本フレーム)は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市町内会長連絡協議会会長 あいさつ ・上越市長 あいさつ ・町内会活動事例紹介(3団体) ・講演(専門家講師) 	<p>令和3年7月7日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。</p>
32	上越市小中学校PTA連絡協議会	B-1-1 B-2-3 B-2-4	研究大会事業	<p>上越市小中学校PTA連絡協議会 研究大会 内容等は未定</p>	<p>研修会・市P連全体の交流事業を計画する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で交流会は計画できず、研修会としてワークショップを計画しましたが、中止となりました。</p>
33	上越市小中学校PTA連絡協議会	B-2-3 B-2-4	交流会事業	<p>上越市小中学校PTA連絡協議会 交流会 内容は未定</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の為計画は無し</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実施内容
34	金谷北地区農村元気会	C-1-2	古道を生かした農村集落の活性化	<p>◎竹内建設から協力してもらい、正善寺ダムから尾根筋まで歩行者用通路を付け尾根筋の道と直結させる。</p> <p>○年3回のイベントを実施する。</p> <p>○イノシシの肉を食う会を会費2500円で実施する。(町内、近隣町内)</p> <p>○スタンプラリーを公表し、実施する。</p> <p>○HPを作る(春日山の周りの古道の紹介、古道散策会のDVDや祭りのDVDの公表)を発信する。</p> <p>○facebookでの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回のイベントの発信 ・イノシシの肉を食う会の発信 ・スタンプラリーの公表路発信 ・ボランティア募集の発信 ・イベント募集の発信 ・首都圏の客の募集(散策会やイノシシの肉を食う会) 	<p>○年3回のイベントを実施。</p> <p>4月10日 春日山城本丸・長浜砦と九十九曲がり道を活用したコース(63名)。</p> <p>7月4日 砦めぐりコースで実施(25名)。</p> <p>11月14日 上正善寺開発センター～春日山城本丸・長浜砦・九十九曲がり道～上正善寺開発センターで実施(19名)。</p> <p>○FACEBOOKでの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回のイベントの発信 ・イノシシの肉を食う会の発信(実施せず)
35	金谷北地区農村元気会	A-1-1	米や野菜の特産化と販売方法の拡大	—	<p>正善寺・滝寺出荷組合</p> <p>○農協中央支店では、1月に4回、郵便局本店では月～金曜日に朝市を始めた。</p>
36	上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会	A-1-4 C-1-2	上越市中山間地域元気な農業づくり推進事業	<p>中山間地域等直接支払交付金や市補助事業を活用し、農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。</p> <p>また、地域マネジメント組織の代表者と定期的に各種制度の情報提供や意見交換を実施する。</p> <p>○中山間地域振興作物生産拡大事業、農産物等庭先集荷サービス事業、ふるさと玉手箱事業による支援(市補助事業)</p> <p>○推進協議会、研修会等の開催</p>	<p>○中山間地域元気な農業づくり推進員及び支援員を各1名配置し、中山間地域農業を持続的に担う体制づくりを支援した。</p> <p>○持続可能な中山間地域農業や農村集落の維持発展に向けて、県・JA・市等関係機関で構成する推進チームを新たに組織するとともに、あらゆる世代の農業関係者の参画の下、「ワークショップ形式による話し合い」を地域自治区単位で各2回実施し、将来に向けた方向性を整理した。</p> <p>○維持管理農用地等で新たに振興作物を栽培する農業者等を支援し、荒廃農地の発生防止に一定程度寄与することができた。</p> <p>○農産物等庭先集荷サービス事業及びふるさと玉手箱事業が令和2年度で終了したことから、各組織の自立した取組として継続されるよう中山間地域等直接支払交付金等の活用を促した。</p>
37	上越発酵食品研究会	A-1-1 A-1-4 C-3-2	発酵食品の開発促進と「発酵のまち上越」のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドイメージの発信…継続した「発酵のまち上越」の魅力を発信 ・売れる商品開発…商品の磨き上げや新商品開発の促進、農工商・産学連携マッチング ・販売促進…PR機会の提供、飲食店等出口とのマッチング ・利用シーン拡大…飲食店における地域発酵食品を活用したメニュー化の促進 ・次世代継承…次の世代への継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを通じて「発酵のまち上越」をPRした。 ・市内にある味噌蔵5社の味噌をブレンドした新商品を開発し、上越ならではの発酵食品である「浮き糀みそ」をPRした。 ・食育月間1DAYにおいて、みそまる作り体験を実施することで、発酵食品文化の啓発に努めた。 ・謙信KIDSプロジェクト「食」の講座において、小学生向けに味噌の仕込み体験や味噌を使った調理実習などを行い、次世代に発酵食品の魅力をPRした。 ・関係各所と連携し、発酵食品に特化したイベント「上越美活lab」や発酵セミナー付きモニターツアーを実施することにより、上越の発酵食品のPRを行った。
38	NPO法人 食の工房ネットワーク	A-1-4 C-1-3 C-4-1	保阪邸邸交流事業	<p>※保坂邸に自生しているふき、ふきのとうなどを試験的に使い加工品を作り、イベントの時に販売をする</p> <p>※イベントを行う時の食に関わる事を企画を行う</p>	活動はありませんでした

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
39	NPO法人 食の工房ネットワー ク	C-3-2	竹灯笼事業	—	①コロナ禍でも出来るイベント開催を考える中、地元4町内会と連携しR3 1月頃より地元の竹を利用した竹灯笼づくりを市民に参加して頂きながら300本の竹灯笼づくり、県道に3月には灯りをともしました。その後7月にも正善寺ダム・正善寺工房に合計500本の竹灯笼を灯りをともすイベントの開催を行いました。
40	NPO法人 食の工房ネットワー ク	C-3-2	地域の魅力再発見	—	②4月頃より地域の魅力を再発見を行うために地元方に声をかけ写真の提供を呼びかけ、R4・1月21日～3月5日までの間正善寺工房で写真展を行いました。沢山の方に見に来て頂きました。1月29日30日移動写真展を無印良品直江津OPENMUJIでの開催も行い988人の方々にみて頂く事が出来ました。その写真を元に地域の方々が4月始まりカレンダー制作をしました。
41	NPO法人 食の工房ネットワー ク	A-1-1 C-4-1	—	—	③県事業の消費喚起拡大プロジェクト助成金に応募し、上越産の米・酒を使い、上越地区の飲食店、酒蔵/酒販売店での消費喚起と需要拡大及び、歴史的建造物/史跡等の観光地の活性化を図るための「イベント」を行いました。上越地区の店舗・観光地を訪れた人にイベント参加カードとスタンプマップを渡し、上越産米をプレゼントしました。プレゼントされた上越産米には、店舗・観光地等のシールが貼られており、集めたシールの枚数により参加者に先着順で地酒、商品券などプレゼントされ、イベント最終日(11/7)は、グランピングを設置したり、プレイイベント期間中の参加店舗以外の事業者より、イベント最終日限定のマルシェ等の出店を集い更なる消費喚起を図りました。 ・最終日の大詰めには、地元伝統芸「獅子天狗舞」、県道には竹灯笼が飾られ、小千谷の花火師による「花火」を打ち上げも行い大いに盛り上げました
42	雪だるま財団	A-1-1	自然エネルギー推進 事業	○雪室活用事業 (1)雪室貯蔵の技術、効果などについて情報提供する ・雪室の見学、説明等の対応 ・事業者に対し貯蔵アドバイス等を行う (2)地域ブランド化の支援 (3)雪室設計、利雪技術支援など ○雪国の情報発信 (1)雪穴や雪室という文化を後世へ残していくため、上越地域の雪国文化の情報収集等を行う (2)雪を活用したイベント等の事業提案、協力、情報発信等	自然エネルギーの普及、推進のため、以下の活動を行った。 ・雪室食品の貯蔵試験 ・雪エネルギー導入等のアドバイス、技術指導 ・和田の雪室の利活用推進と運営支援 ・雪室推進プロジェクトの運営支援(事務局) ・小、中学生を対象とした講話

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実行内容
43	雪だるま財団	C-1-2 C-4-1 D-1-1	ふるさと交流事業	<p>体験型観光交流の受入及び促進</p> <p>(1)大人・企業・インバウンドなど様々な顧客ニーズに応えられるよう、地域・人・施設等の連携を図り、新しい体験プログラムの検討、既存のプログラムのレベルアップ、受入れの課題解決などを図る。 例)個人旅行、インバウンド等、体験・交流を含めた観光事業として、ターゲットに応じた商品を開発し販売する。</p> <p>(2)受入地域の拡大、インストラクターの人材育成 例)体験活動に関する指導者等の人材育成のための研修・セミナーの実施</p> <p>(3)営業・情報発信を行ない、農泊の推進も継続していく。</p>	<p>越後田舎体験推進協議会の事務局を受託し、コーディネータ役として、「越後田舎体験」事業の運営支援を行った。</p> <p>・今年度は新型コロナ感染拡大の影響で、キャンセル対応や日程変更等の対応が多かった。</p> <p>・近隣県や県内への営業活動を行った。</p> <p>・リモートによる商談会や情報提供を行った。</p> <p>・コロナ感染予防に配慮した、新しいプログラムの開発に取り組んだ。</p>
44	株式会社大光銀行	A-1-1 A-2-2	各種金融支援、非金融サービス、情報提供等の多面的な商品・サービスを提供	<p>「第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向けて、各種金融支援、非金融サービス、情報提供等の多面的な商品・サービスを提供する。</p> <p><実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業者や地域企業への金融支援、非金融サービス、情報提供等 ・クラウドファンディングを活用した地域産品のPR ・「空き家対策ローン」(空き家リフォームローン、空き家解体ローン)の活用 ・「リバースモーゲージローン」の活用 ・「医療・介護・福祉」分野、「農業・六次産業化」分野、「環境・エネルギー」分野、「創業・第二創業」分野、「事業継承・M&A」分野への支援 ・ビジネスマッチング、商談会等の販路開拓の機会提供 ・各種セミナーの開催による情報提供 ・外部専門機関の紹介 等 ・企業の人材不足解消への支援(人材確保支援、IT・RPA等を活用した生産性向上支援、業務効率化支援等) 	<p>長引くコロナ禍により影響を受けている中小企業・個人事業者等への金融支援に注力</p> <p>各種補助金・助成金等の情報提供・申請サポートの実施</p> <p>WEB・オンライン等を活用した当行取引先への営業支援(オンライン商談会、WEB上でのビジネスマッチング推進、WEBセミナー開催)</p>
45	株式会社第四北越銀行	A-1-1 A-2-1	中小企業大学校サテライトゼミの強化	<p>上越市・上越商工会議所・中小企業大学校三条校が連携(場合によっては当行、上越信金様等地域金融機関との連携)により、サテライトゼミの強化(今年度は2日間開催予定とのこと)、参加者の募集強化により、上越市の事業者の方に参加していただき、人材育成及び会社の生きた情報として企業の成長に繋げてもらう。</p>	<p>商工会議所経由中小企業大学校三条校への働きかけにより、以下開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年7月 ヒューマンエラー対策講座 ・2021年9月 次世代トップリーダーのための経営戦略策定講座
46	株式会社富山第一銀行	A-1-1 A-2-2	仕事づくり事業、就労支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定支援 ・各種専門家派遣による支援 ・積極的な補助金制度の活用 ・当行ネットワークを活用したビジネスマッチング推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画の策定支援(事業性評価に基づく貸し出し条件取り組み) ○各種専門家派遣による支援 ○積極的な補助金制度紹介、申請支援 ○当行ネットワークを活用したビジネスマッチング推進
47	株式会社八十二銀行	—	高田支店	—	<p>コロナ禍で実施せず。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
48	新潟県信用組合	A-1-1 A-2-2	地域産業支援のためのネットワーク強化	<p>○しごとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市創業支援ネットワークへの参画 ・「けんしん創業アカデミー」の開催 ・「創業・新事業ローン」による金融支援 ・「地域活性化資金」による金融支援 ・事業継承、M&Aマッチングサービス <p>○子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種ローンの子育て支援金利割引制度(ジョイカードによる金利割引含む) <p>○まちの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「けんしん空き店舗活用支援資金」による街の活性化 ・飲食業、旅館業等観光に係る業種専用融資「地域のチカラ」による金融支援 <p>○UIターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅ローンの定住支援割引制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業希望者へ幅広い支援を行い、地域の活性化につなげるため、「創業アカデミー」をWEBにより開催した。各テーマを「人材育成」、「財務」、「販路開拓」、「経営」の4回に分けて開催し、講師は「新潟県よろず支援拠点」のコーディネーターから務めてもらった。 ・事業支援に向けた取組として「事業承継セミナー」をWEB開催した。各テーマを「事業承継の基礎知識」、「親族名継承における対策のポイント」、「第三者承継における対策のポイント」の4回に分けて開催し、「新潟県事業承継・引継ぎ支援センター」から講師を務めてもらった。 ・中心市街地活性化策として当組合で「けんしん空き店舗活用資金」を取扱っています。「けんしん空き店舗活用資金」により空き店舗ニーズを活用した地域活性化に取組んでおります。
49	日本政策金融公庫 高田支店	C-2-2	ソーシャルビジネスへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市、くびき野NPOサポートセンター、上越信用金庫と公庫の4者で「上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク」を組織し、地域や社会が抱える課題の解決に取り組むソーシャルビジネスの担い手の皆様の支援しています。 ・金融面でも、「ソーシャルビジネス支援資金」等の取扱いを行っており、平成30年度のソーシャルビジネス関連融資実績は、全国で11,328件、834億円(うちNPO法人への融資実績は、1,381件、87億円)となりました。 	「ソーシャルビジネス支援資金」融資制度を通じて、NPO法人や社会福祉サービスを中心にソーシャルビジネスの経営者を支援しています。
50	日本政策金融公庫 高田支店	A-2-2 D-3-1	高校生ビジネスプラン・グランプリ(創業・新事業への支援)	日本公庫では、次世代を担う若者の創業マインドの向上を図るため、平成25年度から全国の高校生を対象としたビジネスプランコンテストを開催しています。平成30年度の第6回グランプリには全国で396校が参加し、4,359件のエントリーがありました。希望のあった高校では、ビジネスプランや資金計画の作り方などについて出張授業を行っており、上越市内でも複数の高校で出張事業を行った実績があります。	次世代を担う若手の創業マインドの向上を図るため、平成25年から続く、全国の高校生を対象としたビジネスプランのコンテストを実施しました。
51	日本政策金融公庫 高田支店	A-1-1	事業継続支援プロジェクト(事業継承等への支援)	事業の安定と発展、事業継承等を支援し、廃業の抑制を図るためのお手伝いをさせていただきます。事業所の維持・発展は、地域の雇用増大にもつながり、市内への人の流れにもつながります。具体的には、全国152支店網を活かしたビジネスマッチングシステムの活用や公庫主催の国内最大規模の国産農作物展示商談会(アグリフードEXPO)を通じての、上越市内の企業家や農業家等の販路の開拓支援を行います。また、廃業の抑止に資する事業継承・集約・活性化支援資金を通じての金融支援を進めていきます。令和2年4月からは、事業承継マッチング支援を全国展開し、事業引継支援センター等の外部機関とも連携し、地域を超えて事業承継を支援していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業承継資金」融資制度を通じて、事業の承継を図る経営者を支援しています。 ・「事業承継マッチング」を通じて、事業の譲渡を希望する経営者と事業の譲受を希望する経営者を支援しています。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実行内容
52	日本政策金融公庫 高田支店	A-2-2	事業創生プロジェクト (創業・新事業への支援)	日本公庫では、「新規開業資金」などのご融資を通じて、あらたに事業を始める方や事業開始後間もない方のお手伝いをさせていただきます。地元での開業企業数を増加させ、地域の雇用を創出していきます。具体的には、上越市創業ネットワークのメンバーとして、創業セミナーの開催や公庫創業サポートデスク等を通じて、様々な情報提供や提案と創業を志す方のバックアップを行っていきます。	・「新規開業資金」等創業関連の融資制度を通じて、創業を図る方や創業して間もない経営者を支援しています。 ・創業を図る方向けに「創業セミナー」を開催しました。
53	日本政策金融公庫 高田支店	B-2-2	子育て支援プロジェクト(地域のお子さまの就学支援事業)	日本公庫の「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」及び「教育機会の均等」を目的として、昭和54年に創設されました。平成30年度の利用件数は全国で約12万件です。日本公庫では、昨今の厳しい経済状況において多くの大学、専修学校、高校などの進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭の方を対象に融資による就学面の支援を行っていきます。	「国の教育ローン」融資制度を通じて、進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭を支援しています。
54	東京海上日動火災 保険株式会社	A-1-1	東京海上グループソリューションによる地方創生実現サポート	各種セミナーの実施を予定	4大ハラスメント対策セミナーの開催(商工会議所と連携) 「中小企業が取り組むべきサイバーリスク対策セミナー」の開催(中央会と連携)
55	第一生命保険株式 会社 長岡支社	A-2-1 B-2-1	生命保険事業	—	まち婚 12月に実施 上越名家一斉公開(春夏秋)のPR 雁木のまち再生のサポート こども見守り、高齢者見守り活動 医療従事者への応援メッセージ
56	MogMogカンパニー の設立準備会	A-1-1 A-1-4 A-2-1 A-2-2 C-3-2 D-1-1	MOG-MOGプロジェクト事業	・第1期で継続発展させた農業・食を軸とする仕事の生み出し ・市内に点在する3セクの施設との連動 ・周辺事業者との連携	7月: 第二回アートマルシェ前夜祭はピアノ生演奏と美術館雁木イルミネーション設置 9月: 直江津うみまちあーとのまちあるき 11月: 三重櫓からのレルヒ記念館街歩き。 11月: フライングクリスマスパーティー 12月: プラチナ会、少し歳上の人向け、懇親会 3月: 春日山神社で、清掃と、階段ライトアップ。反省会 この間、メンバー各人と、打ち合わせ。他の企画への招待や、悩み相談などで、週一程度交流。
57	MogMogカンパニー の設立準備会	A-2-1 A-2-2 C-3-2 C-4-1	観光アプリコンテンツ事業	・開発をしたアプリを使用した、玄関口上越妙高駅からの観光ルート、観光ナビの政策とその運用。 ・上記を進める中での若い人材や定年後の才能ある高齢者の採用。 ・上越市内数か所の取材と現行まとめと外国語・日本語のガイド制作。 ・その後県外・外への普及活動。 ・多言語展開もできる世界アプリを目指す。	7月: うみまちアート音声ガイド制作、公開(9カ所) 10月~2月: 直江津地区音声ガイド制作(20カ所25本、うち英訳15カ所15本) 3月: 直江津地区音声ガイド公開、クーポン実証実施 ※直江津地区対象スポット安寿と厨子王の供養塔、岩殿山明静院、御館跡、居多ヶ浜、居多神社、神々の石像(居多神社)、片葉の葎(居多神社)、五智国分寺、三重塔(五智国分寺)、経蔵(五智国分寺)、山門(五智国分寺)、三・八の市、上越市立水族博物館 うみがたり、直江津屋台会館、府中八幡宮、平和記念公園・展示館(旧直江津捕虜収容所)、本願寺国府別院、ライオン像のある館(旧直江津銀行)、直江津D51レールパーク、船見公園の人魚像

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実行内容
58	上越商工会議所政策委員会(謙信公)	C-4-1	謙信公聖地構想に基づく春日山城の振興/上越・上田・甲府・三国同盟推進事業	<p>三国同盟、必勝祈願の旅を通じた相互送客や情報発信を強化する。</p> <p>①県外市外の観光イベント・商談会への出展 全国山城サミットin上田・坂城大会、観光マッチング商談会への出展等</p> <p>②必勝祈願の旅の催行、並びにろくもん・雪月花相互乗入れ事業の実施</p> <p>③電子媒体を活用した三国スタンプラリー等の実施 個人旅行をターゲットに上越・上田・甲府を周遊させる仕組みづくり</p> <p>④観光事業者の観光マインド醸成事業 観光事業者を連れて全国商工会議所観光振興大会への参加等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・信玄公生誕500年祭大法要に参加 ・ライフスタイルWeek関西に出展 (feel NIPPON)
59	上越観光コンベンション協会	C-4-1 C-4-2	魅力ある観光地づくり事業	<p>○観光施設の管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所運営事業(上越妙高駅、高田駅、直江津駅) ・観光施設(上越観光物産センター、高田城三重櫓、海水浴場) <p>○観光イベント支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高田城百万人観桜会、春日山城跡での観光客への情報提供、越後上越上杉おもてなし武将隊、観光宣伝活動、ホームページ等による観光宣伝、観光パンフレット等の作成、食を通じたPR、物産販売の出店機会の情報提供 <p>○来場者満足度向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド及び有償ガイドの育成と派遣 <p>○誘客促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興促進助成事業、観光ツアー商品の提案の開発、広域観光ネットワークの推進、インバウンド事業の推進、募集型企画旅行の造成促進、上越市出身者交流促進事業 <p>○上越市内のコンベンションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション誘致活動、コンベンション開催支援事業 <p>○観光物産展推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市の観光と物産展開催 <p>○実行委員会事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越まつり、上越運まつり、レルヒ祭 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッション事業、着ぐるみ貸出 	<p>上越製品の消費需要の拡大とアフターコロナを見据えた集客促進事業<概要></p> <p>【上越会場】</p> <p>企画1:上越美活Lab～食と発酵で心も体も綺麗になろう～ 概要:美・健康をテーマにした食や体験ブースの出店</p> <p>企画2:上越応援クーポン券 概要:上越美活Lab会場及び当該イベント終了後に上越応援クーポン参加店舗で使えるプレミアム付きクーポン券を販売</p> <p>【首都圏会場】</p> <p>企画3:旅する上越～雪国でみつける美と健康～ 概要:アフターコロナを見据え、首都圏の女性をターゲットにした上越製品のプロモーション及び店頭販売(都内アンテナショップ 4店)・ECサイトでの販売を行う。</p> <p>会場:ブリッジにいがた(中央区日本橋)ほか (株)ブリッジにいがた社ECサイト</p>
60	上越観光案内協会	C-4-1	上越市と加賀市との交流推進(加州大聖寺藩参勤交代うお〜く)	<p>先の当イベントに於いて「まちおこし」という意識を持った「チーム・エプロン」と称す女性グループが発足した。彼女らの活躍には目覚ましいものがあり、今後もその活躍の場を機をみて設けていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年2月24日(木) 橋本洋一、宮川大樹上越市議と共に加賀市を訪問。議員間交流から始めようと行動を開始した。 ・令和3年4月3日(土) 観桜会に加賀市の一行が来越。城址公園を中心に受け入れ計画を万全にしたが、コロナ禍により延期となった。
61	上越観光案内協会	C-3-2 C-4-1	「明治天皇 北陸巡幸ゆかりの地を巡る旅」実施事業	<p>当協会の企画により「まちおこし」の先進地とされる村上市を視察してから5年目になる。歴史や史跡とその物語性という視点から村上市と上越市を比較すれば、内包される可能性は村上市より上越市が勝ると考える。問題は上越地域の住民にその認識がないことである。テーマや的のある程度まとめて絞り、わかりやすく、住民の興味を引けるツアーを企画していきたい。</p>	<p>令和2年3月28日(土)「明治天皇北陸巡幸ゆかりの地をめぐる旅」は、80名の参加希望者があり、コロナ禍により延期になったが、令和3年も終息とならず再度延期となった。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実績内容
62	頸城区観光協会	C-3-2 C-4-1	他団体との連携	上越市内の観光協会とのミーティングや意見交換を実施する。	大池周辺施設利活用におけるNPO法人くびき里やま学校との共催イベントを実施。
63	上越ワーキングネットワーク	A-1-4 A-2-1 A-2-2	1.農福連携 2.共同受注事業 3.共同販売事業	①障害者就労支援事業が独自に農業を行う。 ②地域の農業者の手助けとなるよう障害者就労支援施設が一部の農作業を委託実施する。 ③①、②を通じて障害者が地域の農業法人等で働けるようにしたい。	1.上越市農福連携障害者就労支援コーディネート事業の受託 2.行政・企業からの共同受注業務の受託 3.各種イベントでの共同販売会の実施。自主販売会の実施。 ※1.PR活動。毎月一回FMJ出演。 ※2.PC等の基板回収事業
64	NPO法人上越地域活性化機構	A-1-1 A-2-1	—	—	実績なし
65	協同組合くびき野地理空間情報センター	A-1-1 A-2-1 C-3-2	地域情報センター構築、データ加工システム化	関係団体であるORAJA(上越地域活性化機構)や、にいがたGIS協議会と協議を重ね、『地域情報センター』の構築、オープンデータ加工のシステム化の素案作りをすすめ、最終的には誰でも利用できるような形で提供できるようにしたい。	○上越市で公開された公共データの一部のオープンデータについて、利活用に関しての環境整備。 ○上越市の行政および地域イベント等の総合情報サイトをwebGISを活用し、地図情報も合わせて構築していきたい。そのための素案作り。 上記2点を実施していくために検討会等を考えていたが、コロナ禍の影響もあり、災害協定を結んでいる新潟県との協議や、組合内部の委員会再編などにおいてすすんでいない状況。
66	雪室推進プロジェクト	A-1-1	雪室、雪室食品推進事業	○雪室グルメフェア開催 地域での浸透を図るため、地元飲食店等と連携し「雪室グルメフェア」を開催する。飲食や物販を通じ、雪室メニューや雪室商品を知っていただく機会とする。また、このイベントをPRし上越への誘客に結び付ける。 ・年2回開催(8月、2月) ・市内の飲食店、洋菓子店、ベーカリーなどが参画し雪室食材を使った特製メニューを提供・販売する。 ・当プロジェクトの活動や雪室商品など、地域内外に情報発信する ○雪室新商品の開発 雪室商品と上越ならではの食(発酵食品、上越野菜、メイドイン上越など)や飲食店等とのコラボにより新商品や新メニューへの展開を図る。	・地域での浸透を図るため、地元事業者と連携し、雪室食材の活用や物販を実施した。 ・雪室推進プロジェクトの活動PRのための取材対応、情報提供を行った。
67	平安セレモニー株式会社	C-1-1	みんな笑顔に！高田の華火2021	—	上越市関川河川敷からコロナ終息祈念花火を打ち上げた。規模は4号玉以下を1000発。糸魚川市、妙高市など近隣市町村住民に周知するとともに、花火打ち上げの動画を撮影し、インターネットで閲覧できるようにすることで、近くに来れなくても多くの方に花火を楽しんでもらった。近隣の医療機関へ、花火打ち上げに医療従事者の皆さんへの感謝の気持ちが込められていることをお伝えした。 打ち上げ場所間近の結婚式場を会場とした。会場では花火観覧を楽しむと共に県内の清酒やワインの飲み比べ会を同時開催し、売り上げの落ち込む清酒やワインの消費拡大の機会とした。食事は地元食材を活かした結婚式場ならではの料理を提供し、非日常を楽しんでもらいながら感染症の影響で稼働の落ち込む結婚式場の活用の機会とした。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
68	平安セレモニー株式会社	A-1-1 C-4-1	学んで味わう魅惑の醸造・発酵フードフェスタ	—	坂口謹一郎の功績や発酵に関する講演及び酒づくり、ワインづくり、かんづり製造の動画を見ながらの講義を行った。 また、新潟の銘酒とワインの試飲会や上越の発酵食品を使ったフードメニューを提供するとともにワイン・日本酒に合う発酵食品を使った「発酵アレンジレシピコンテスト」を実施した。 幅広い地域の消費者に清酒、ワイン、発酵食品に触れる機会をつくることで消費喚起につなげることができた。
69	上越商工会議所政策委員会(女性会)	B-2-1	めぐりあい事業(婚活事業)	<p>①婚活講演会(本年度の新規事業)*実施済み ⇒会員企業の経営者等を対象とした、婚活の啓発活動として県内の婚活事情に詳しい方を講師にお招きしてご講演いただいた。 ○日時 令和元年11月14日(木)14:00~15:30 ○会場 アートホテル上越 ○演題 「今ドキ?! 県内婚活事情」 ○参加者数 20名</p> <p>②婚活イベント(継続事業)*実施済み ⇒会員企業の独身中従業員を対象とした「交流パーティー」で、婚活を意識して結婚式場を会場に実施し、様々なゲームを行いながら、交流を楽しんでいただいた。 ○日時 令和2年1月17日(金)18:30~20:30 ○会場 シェ・トヤ ○名称 「2020kirakira NEW YEAR PARTY」 ○参加者数 71名(男性41・30)*事業所数41件</p> <p>※当会としては、より多くの会員企業が「婚活」に興味をもち、自社の従業員が婚活イベント等へ参加しやすい環境を整えてもらうことが第一の目標である。 そして、多くの従業員にイベントに参加してもらい、仕事・プライベート両面で、新たな仲間を作ってもらえることが肝要であり、そこから「結婚」へ繋がっていければなお良しと考えているにより、カップリング等は未実施</p>	<p>「ハートマッチにいがた」登録料助成事業 上越市在住の独身男女を応援するため、新潟県が運営している婚活マッチングシステム「ハートマッチにいがた」の登録料を助成。 対象者 満20歳以上、独身の男性・女性、 上越市在住、結婚後も上越市に在住予定 助成金 ハートマッチにいがた登録料の1/2 ※登録料11,000円のうち5,500円を助成 ※初回登録・更新登録問わず助成 ※キャンペーン等により登録料が割引の場合は、 割引後金額の1/2 受付期間 令和3年7月1日~令和4年3月31日 申込状況(3/16現在) 下記のとおり 男性:14名 女性:4名 合計:18名 助成額合計:96,000円(予算:100,000円)</p>
70	上越助産師会	B-2-2	母子保健事業	<p>①上越市四季の縁日…秋色縁日にブース参加 ・助産師会の活動紹介(PR) ・(NEW!)産後ケア事業として、生後0~4ヶ月児の子育て中のパパママの相談窓口を開設する。 ・デコルテマッサージを通してリフレッシュを図り、育児に前向きに取り組めるような支援を行う。</p> <p>②妙高市出会い~子育て応援フェア参加 ③上越市母子保健事業(委託事業) ④妙高市母子保健事業(委託事業) ⑤性の健康講座(委託事業) ⑥その他 個人開業で沐浴、乳房ケア、各種研修会・各種講座の講師など</p>	<p>上越助産師会 独自の重点事業 ・研修会 10/1開催予定→コロナの為、中止 ・いいお産の日イベント 10/24開催予定→〃 ・妙高市出会い子育て応援フェア→〃 ・6/18 オンライン会議 Zoomの練習及び研修実施</p> <p>委託事業—すべて実施 ・上越市の母子保健事業(健康づくり推進課) ・妙高市の “ (子ども課) ・性の健康講座</p> <p>その他—依頼あったものすべて実施 個人開業により 沐浴、乳房ケア、上教大講師、こどもセンター講師、上越看専講師など</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
71	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	子育て親子の居場所づくり事業	●乳幼児を子育て中の親が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として、「子育ての応援ひろば ふう」を週に2回開設する。	●乳幼児を子育て中の親が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として、「子育ての応援ひろば ふう」を開設した(毎週2回)。7月からは、開催日を増やし「マタニティママの日」を毎月1回行い、妊娠期や産後早い時期から地域の親子等とつながれる機会を設けた。また、子育て中の保護者が他者の支援を考える機会となる日も設けた。(上越市地方創生補助事業)
72	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2 B-2-5	子育て情報の発信事業	●フリーペーパー「じょうえつ子育て応援誌With Kids NEWS」の発行 ・乳幼児を子育て中の保護者が、自ら企画や取材に関わり、身近な地域の情報を集めた子育て応援誌を年に4回発行発行する。 ●親子向けイベント情報の収集と発信 ・乳幼児を子育て中の保護者が、実際にイベントに参加した情報を持ち寄ったり、新たなイベントの情報を持ち寄る会を開催する。 ・イベント情報を収集し、親子向けイベントカレンダーの製作(毎月)、コミュニティFM局への情報発信(毎週)を行う。	●フリーペーパー「じょうえつ子育て応援誌With Kids NEWS」を発行した(年4回) ●親子向けイベント情報を収集し、イベントカレンダーの製作(毎月発行・上越市地方創生補助事業)、コミュニティFM局への情報発信(毎週)を行なった。
73	NPO法人マミーズ・ネット	B-1-1 B-2-2	子育て・子どもの育ちに関する学習・啓発事業	●子育て中の人や、子育て支援に関わる人、地域の人等に向けての催し、「子育てわいわいフォーラム」を実施。 ●ワークライフバランスの視点をもった、子育て・子育て支援に関する講師の派遣	●子育て中の親同士が話し合いながら「子どものしつけ」について学び考えあえるワークショップを2回開催。(docomo市民活動支援事業) ●「子育てやパートナーシップを考えるパンフレット」作成し、乳幼児の保護者に配布した。 ●コロナ禍に妊娠・出産をした母が、家族や地域とともに子育てをしていくことを考えるためのワークショップを3回開催。 ●コロナ禍に新しく親になった両親が、夫婦とともに子育てをしていくことを考えるワークショップを2回、オンラインセミナーを1回開催した。(以上、新潟県地域の子育て力育成事業)
74	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	子育て世代の交流促進事業	●育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」の実施 ●育児サークルのネットワーク化を図る	●コロナ禍に妊娠・出産をした母が、他の親子や先輩ママと出会える場「#はじめのいっしょ」を3回開催。(新潟県地域の子育て力育成事業) ●育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」を行った(1回)
75	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	保育コーディネーター事業	●保育ルームの設置については企業・行政・団体等からの依頼により随時実施 ●保育ボランティアを集め、研修機会を設けていく。 ●保育ボランティアが地域人材として活躍できるよう支援する。	●企業・行政・団体等からの依頼により一時保育ルームを設置した。 ●保育ボランティアを集め、研修を行った。 ●保育ボランティアが地域人材として活躍できるよう支援した。
76	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-5	上越の子育て環境の魅力発信事業	●県外、市外での子育てに関する講演のなかで、上越の子育て支援について紹介する。 ●様々な機会の上越の子育て環境について紹介する。 ●SNS上での「#上越の子育て」発信を継続していく。 ●0歳から3歳の子どもを育てる家族に向け「親子フェス」を開催する。	●県外、市外での子育てに関する講演(オンライン)のなかで、上越の子育て支援について紹介を行った。 ●上越子育てアンバサダーを任命し、インスタグラム上で「#上越の子育て」を活用してもらい、広く上越の子育ての魅力を発信した。(上越市地方創生補助事業)

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実施内容
77	高田本町まちづくり株式会社	C-1-1	空き店舗対策事業	<p>①本町商店街出店サポートセンター 物件情報、補助金情報、商店街の情報をひとつの窓口で提供し、本町商店街への出店希望者のサポートを行う。 本町商店街の空き店舗を管理する不動産業者・地権者・商店街・上越市・商工会議所と連携し出店希望者へ有益な情報提供を行なう。 月～金9時～18時開設中(要事前連絡)</p> <p>②本町商店街空き店舗巡りツアー 本町商店街の空き店舗物件内部を見学するツアーを企画・開催。 すぐに出店を希望する人から、いずれは起業したいと考えている人まで、気軽に参加できるツアー。 物件の情報だけでなく、街の雰囲気を感じてもらえるよう、イレブンプラザでのイベントの様子なども見学してもらっている。 不動産業者、地権者と連携してツアーを開催している。 2カ月に1回開催予定(第1土曜日)</p>	<p>○空き店舗情報の把握</p> <p>○出店相談窓口の開設(通年・予約制) 無料 令和3年度の実談件数 3件</p>
78	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-1-1 C-1-3 C-4-1 D-1-1	雁木の街「越後高田」の街なか遺産を活用した文化観光・百年体験事業	<p>①宇喜世及び他の100年遺産の歴史体験、文化体験、観光、食事、物販を自由にセット・カスタマイズできる現在も日常生活の場として利用されている遺産を活かした文化体験ツアー。</p> <p>②レンタル和服に着替え、仲居接客(目配り・気配り・心配り)体験、仲居頭からの「おもてなし」講義等を、100年料亭で世界に誇れる「おもてなし」のプロ仲居体験プラン</p> <p>③語り手より百年遺産(建屋・老舗・町屋)等の歴史・文化の説明を受け、雁木の街並みや神社・寺院等を散策する、雁木街歩き「百年文化と老舗めぐり」ツアー</p> <p>④県外在住の上越出身者に向け、100年の歴史文化越後高田で和の祝宴プランの展開。婚前の「顔合わせ」「結納」をメインに、家族規模の挙式・披露宴を行えるプランも充実予定。</p> <p>⑤浄興寺大門通りを「城下の街並みシンボルロード」と位置付け、まち歩きの語り手説明以外にも、神輿(日枝神社)の巡行、駐車場を利用した夏祭りイベント等を開催する。</p>	<p>①百年料亭の建屋・歴史的価値を活用した事業を実施 ・外部の匠を招聘し「ベジランチ」「中華ランチ」「和菓子喫茶」の実施</p> <p>②百年料亭のあるまち～伝統芸能・文化の発信 ・「百年料亭と江戸(赤坂)芸妓文化」体験事業の実施</p>
79	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-3-2 C-4-1	酒造蔵・醸造文化発信事業	<p>①醸造所の見学 醸造所の改装に伴い、一般の方にも酒蔵を体験できる見学会を開催し、市外からの観光客及びインバウンド客を誘客することで日本酒の奥深さを知ってもらう。</p> <p>②上越産土産売場の設置 上越名物や特産品を手軽に購入できるコーナーを醸造所内に設置し、高田まち歩きの中でおみやげ品等の対応も出来る環境づくりを提案する。</p> <p>③試飲・食事のもてなし 敷地内の「楽酔亭」で庭園を鑑賞しながらの、見学者等に対応した利き酒や試飲を体験してもらうと共に、一般客や観光客に対しての食事の席も用意することで日本酒を満喫してもらう。 ※すべての事業の様子を画像・動画で情報発信し、また、来場、来店した方にも情報発信を促す。</p>	<p>①オリジナル日本酒作成事業 ・小ロット生産を可能にし依頼に応じたオリジナル日本酒の販売を開始</p> <p>②観光蔵としての誘客事業 ・従来の寒仕込みから四季醸造に転換し、いつでも蔵の作業風景が見られる越後高田の観光蔵をスタート</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
80	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-3-2 C-4-1	着地型観光事業	○観光受け入れ業者の開拓とプログラムの開発: 来訪する人の五感に訴える体験メニューなど外客を受け入れる態勢と受け入れ側の協力体制の構築に向けたネットワーク化を推し進め、可能な限り具体的なプログラムを可視化していく。 ○着地型企画商品の造成、広報、募集、催行: 受け入れ施設のネットワークを活かしたまち歩きや各施設でのさまざまな体験をはじめ、上越名物や特産品を手軽に購入できるツアー商品等の造成を行う。また、ジャンルに合わせたターゲット層の絞り込みによりSNS配信などによるwebをメインとした集客募集を実施し、観光による地元への経済効果につなげていく。	「発酵ツーリズム体験と百年料亭を味わうモニターツアー事業」の実施 県(消費喚起・需要拡大プロジェクト応援事業) ・上越エリアの酒造、味噌、醤油蔵全9コースの体験型県がkツアーを実施。あわせて「醸造」と「発酵文化」のセミナーを開催
81	花のまち高田プロジェクト	C-1-1 C-4-1	花のまち高田プロジェクト	◆事業の概要・・・「花」をテーマに四季を通じた商店街ならびに中心市街地活性化に取り組む。 春・・・「世界の桜」の写真展の開催。→インバウンド×観桜会誘客×個店PR 夏・・・「お水鉢プロジェクト」の開催。→ 蓮まつりPR×商店街PR×まちなかの景観作り。 秋・・・「たかだ花ロードウイーク」の開催。→アート×商店街振興×まちなか回遊。 冬・・・「本町ウインターマーケット」の開催。→インバウンド×商店街振興 上記のイベントは、本町商店街、まちづくり上越、高田まちづくり株式会社、オープンガーデン愛好会等と連携して実施していく予定。また、時期や期間、回数などは時流や予算を鑑みながら検討し、進めていく。	①城下町高田花ロード実行委員会→花ロードウイークを開催した。(2021年9月18日～23日) ②オープンガーデン愛好会→春・秋のオープンガーデンを開催(春は、上越・妙高・糸魚川の3市の方限定、秋は花ロードウイークと同時開催)した。春は遠足ガーデンも開催。 ③お水鉢プロジェクト(商店街個店とオープンガーデン愛好会会員宅のお庭にてお水鉢の展示/参加全29箇所) ④インバウンドで本町を盛り上げるおかみさんの会→本町おもてなし英会話のクリアファイルを追加作成し観桜会会場にて配布予定。
82	直江津まちづくり活性化協議会	C-1-1	鉄道資産活用検討事業	①SL(D51号)の直江津駅前広場への移設・展示 ※日本海側の「新橋駅」 ・SL(D51号)が現存していることに対する市民の認知向上と移設に向けた機運の醸成を図るための講演会やセミナー等の開催 ・移設等にかかる資金調達方法の検討と調達に向けた具体行動 ※移設・展示費用(概算見積もり) 約5000万円 ②転車台・扇形庫を活用した集客イベントの開催 ・なおえつ鉄道まつりイベント時の活用策立案・実施 ・トキメキ鉄道の独自企画催事時の活用策立案・実施 ※前例として、2018年10月に和太鼓フェスティバルイベントを開催。来場者1500人。事業費100万円	▶なおえつ鉄道まつり実行委員会に参画。えちごトキめき鉄道に協力して、新潟県 鉄道発祥の地・直江津と鉄道資産の魅力を発信するイベント「なおえつ鉄道まつり2021」を企画立案。11月3日(水・祝)直江津駅およびその周辺を会場に開催。 ▶JR東日本鉄道OB会直江津支部に協力して、下記イベントを実施。 ①五智公園のD51蒸気機関車の清掃(8月8日、五智公園) ②信越線直江津-関山間開業135周年記念「鉄道用品展示会」の開催 ※旧直江津駅の大時計や近隣周辺の駅名板、駅長の制服などを展示。
83	本町3・4・5商店街振興組合連合会	C-1-1	高田本町割増商品券発行事業	上越市地域商業商店街活性化事業補助金(特別枠)を活用し、消費者にプレミアム付き商品券の発行を行う。再来街を促すために、1/3日の初売りに合わせ、プレミアム商品券購入者限定のイベントを行う。	年末年始(R3.12月3日～1月10日)にかけて20%のプレミアムがついた商品券を発行
84	本町3・4・5商店街振興組合連合会	C-1-1	商店街共同イベント(お花見ウイーク)	①今年は、若い世代をターゲットにし、新規格「イメチェンフェス」と題して、美容室・ネイルサロン・コスメショップ等の体験ブースを設置する。又、春セールについても、4/2～4/14を予定している。毎年好評の働く車の展示も行う。	4/1～15 スプリングセール 4/3、10 長机マルシェ 4/10 春の本町パン祭りを開催した。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実施内容
85	本町3・4・5商店街振興組合連合会	C-1-1	商店街共同イベント(本町七夕まつり)	②市内の幼稚園・保育園と連携をし、園児達が作成した、七夕飾りを本町商店街アーケードに飾る。作成をに協力頂いた園児さんたちにミニイベントへの招待を行う。	7/1～7 七夕飾りを展示 7/1～7 アーケード下での長机マルシェを開催
86	本町3・4・5商店街振興組合連合会	C-1-3	商店街共同イベント(高田本町百年商店街)	③昨年で、23店舗の絵看板が出来上がり、今年は10店舗の絵看板を作成予定としている。100年以上の商業の営みがわかるとても楽しい絵看板である。できれば、冊子を作り、インバウンド事業と連携をし、外国の方にも城下町高田をアピールしていきたい。	四季を通じて百年絵看板ツアーを実施 10月には、スタンプラリーを開催した。
87	本町3・4・5商店街振興組合連合会	C-1-1	商店街共同イベント(花ロードウィーク)	④例年とおり、作品の展覧を募集し、街歩き楽しみとして、花の名前を入れた俳句を募集し、アーケードの柱に掲示する。	9/18～23 ・花の公募作品展示 ・ストリートピアノ ・花の俳句展示
88	本町3・4・5商店街振興組合連合会	C-1-1	商店街共同イベント(レルヒ祭)	⑥レルヒ祭実行委員会への協力。商店街での子供向けミニイベントの実施。	コロナにより規模縮小し雪とうろう展示
89	NPO法人くびき振興会	C-1-2 C-2-2 C-4-1	振興会の基盤整備	当振興会で対応できる事業(例えば草刈り、枝払い等)や作業を調査するとともに、区内の組織と連携し組織や体形の縮小、簡素化を図る。	市からの委託事業と補助金事業を主な財源として運営しており、委託事業は1事業がコロナ過で実施できず、1事業は事業内容の見直しがあり全体として事業費は減少した。新規事業はなかった。 補助金事業は、内容の変更はあったが実施することが出来た。
90	NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	C-1-2 C-2-1 D-1-1 D-3-1	地域再生を担う若者の人材育成	・地元中学校を対象にしたUターン教育の実施(年10回程の座学とフィールドワーク) ・インターンシップの受け入れ(秋に2大学を予定)	地元小中学生を対象にしたUターン教育(総合学習、クラブ活動、放課後活動、長期休み中の体験イベント)
91	里山の自然と暮らそうサポートセンター	A-1-4	休耕田の再生	—	放棄地の微生物農法により土壌改良し、作物の栽培を行った。
92	里山の自然と暮らそうサポートセンター	A-1-4	自給自足体制の確立	—	耕作放棄地の活用により解決する自然農法の確立に向けて農地の確保を行った。
93	里山の自然と暮らそうサポートセンター	D-1-1	若者の定着	—	自給自足を基本としたライフスタイルの実施、生活すべての改革を目指して若者の移住者を募集定着をはかった結果、4名の移住者を確保できた。
94	株式会社北信越地域資源研究所	C-3-1 C-3-2 C-4-1	ツーリズムミーツ上越妙高	観光フェア ツーリズムミーツの開催 年2回程度	特になし
95	株式会社北信越地域資源研究所	A-2-1 D-1-1	上越妙高駅前に移住定住案内所を作るプロジェクト	—	関東圏の大学との交流、フィールドワークの受け入れ。移住定住、副業希望者とのオンラインでのフォーラム開催。総じて、関係人口、交流人口の増加に寄与するような各種取り組みを行った。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
96	NPO法人高田警女の文化を保存・発信する会	C-1-1 C-3-2	「警女ミュージアム高田」運営発信事業	今年5月に高田世界館で「映画GOZE」が上映されるのを機に、4月～6月に越後警女まつりを上越市とコラボして実施する。 ・ミュージアム企画展と上越市立歴史博物館の警女常設コーナーとの連携 ・ミュゼ雪小町での「ごぜさの歩いた風景展」の開催と警女がたり、警女シンポジウムの同時開催 ・高田警女ゆかりの地を巡るバスツアーでのロケ地巡り ・警女唄演奏会や門付け再現など各種イベントを開催	4/1-18 春の企画展 5/16 天林寺にて妙音講と警女唄演奏会 6/13 「警女」ロケ地を巡るバスツアー 6/18 出前講座(千曲市)、6/24(新道地区公民館) 8/8-15 夏の企画展 12/9 冊子「越後ごぜからの発信」作成 11/20-1/20 2階改修工事(ミュージアム) 1/6-27 雪月花お手振19回(来館9回)
97	NPO法人街なか映画館再生委員会	C-1-3 C-3-2 C-4-1	高田世界館を活用した街の活性化と交流人口UP計画	■広場で定期的なイベント開催 ・広場での定期的なフリマ開催 ・広場を活かした雪遊びの提案 ■広場発信の観光事業の強化。 ・小町界隈の看板マップを利用した街巡り ・レンタサイクルの実現 ・高田小町を利用した展示会 ・広場での屋外上映会	コロナ禍の影響を受けた前半は、見学、映画鑑賞集客ともダウンし、大きく交流人口をUPさせる事には至らなかった。 後半に入りワクチン接種が進んだ影響や、第5波が終息した事もあり、県外からの観光ビジターが回復し出した。 ただし年明けから再び新型コロナオミクロン株の影響を受けて入館者は減少となった。
98	お馬出しプロジェクト	C-1-1 C-2-1 C-3-2	お馬出し塾	会場は第20回より継続して武蔵野酒造の「楽酔亭」で行っている。会の前半は講演会、後半は「清宴」と称し日本酒と郷土料理のおもてなしを行いながらまちづくりを話題に交流を行っている。	コロナ感染の状況が収束せず、狭い会場での講演会や飲食を伴う清宴の実施は望ましくないため
99	お馬出しプロジェクト	C-1-1 C-3-1 C-3-2	えちごトキめき鉄道「冬の雪月花」のおもてなし	①高田駅で角巻・トンビ姿によるお出迎え。 ②高田小町でのおもてなし ・角巻・トンビの着用体験 ・三味線演奏と方言でのおもてなし ・郷土料理(つげな汁と切り干し大根煮)のおふるまい	同上に、飲食を伴うおもてなしが望ましくないため
100	越後高田・雁木ねっとわーく	C-1-1 C-1-3	風鈴街道IN雁木事業	事業の内容:雁木の歴史的価値と維持保存の必要性を認識してもらうために毎年夏に雁木の軒先に風鈴を飾ります。また、雁木を題材にして雁木の写真コンテストを実施します。雁木の歴史的価値を知ってもらうためのパンフレットを作成して首都圏向けに発信していきます。他団体との連携を強化し、城下町高田の歴史、伝統文化、風習等を掘り起こす活動をしている団体と一緒に発信していきます。また、団体相互の共同参加、雁木のある町内、町内会長に呼びかけていきます。 実施方法:毎年7月の高田の祇園祭からお盆まで雁木のある町内に呼びかけて風鈴を飾ります。また、雁木を題材にして雁木の写真コンテストを実施します。	事業内容1 8月1日からお盆まで雁木の軒先に風鈴を飾って、雁木のあるまちの全域に風鈴のまちの景観をつくりました。 事業内容2 お盆の期間中、雁木のまちに一齐に行灯を掲出して、雁木のまちの行灯の景観をつくりました。 事業内容3 7月下旬から31日までお休み処を開設して高田のまちを訪れる人やまち歩きをする人に風鈴や行灯の景観を楽しんでいただきました。 事業内容4 雁木の日常生活に欠かせないものとしての価値と歴史的文化的資産としての価値を広く知ってもらうため、雁木の写真コンテストの応募作品を活用して雁木を紹介する冊子を2000部発行し、主としてJネットを通じて配布しました。 事業内容5 雁木の歴史的文化的資産としての価値を認識してもらい、雁木でつながるまちの生き方と歴史景観を広く知ってもらうため「雁木の魅力写真コンテスト」を実施し、57点の応募がありました。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
101	NPO法人くびきのお宝のこす会	C-1-3 C-2-1 C-3-1 C-3-2 C-4-1	くびき野レールパーク及び瀧本邸公開事業	<p><くびき野レールパーク></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間5回(6日間)に亘る定期公開・特別公開の実施 ・マンネリ化に陥らない公開イベント内容の工夫、刷新 ・マスコミ等を利用した宣伝の拡大、市内小・中学校へのポスター配布 ・幼児、児童、生徒や一般人を対象とした学習啓発活動の宣伝、推進 ・地元の鉄道関係機関との話し合いによる公開内容の検討 <p><瀧本邸></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ等を利用した宣伝の拡大 ・市内の名家4邸(保坂邸、林富永邸、白田邸、飯田邸)と連携した公開の実施 ・中学生の清掃ボランティアと瀧本邸の歴史的・文化財としての価値宣伝 ・公開実施5邸が連携した実行組織への協力 	<p>1 くびき野レールパーク定期公開</p> <p>①7月18日(日)9:00~15:00 333人来訪</p> <p>②予定していた5月、6月、9月、10月公開はいずれもコロナ禍のため開催中止</p> <p>2 くびき野レールパーク要請公開 16団体の訪問あり、499人来訪</p> <p>3 瀧本邸の公開は本年度より直接的に関わらない(上越名家ネットワークに実質的に移管した)</p>
102	南本町三丁目まちづくり協議会	C-1-1 C-1-3 C-2-1	町内景観ガイドラインの活用と制度づくり	<p>専門家と市役所と連携を取りながら、適切なアドバイスをいただき住民参加で取り組んでいく。また、今上越技術高等学校の生徒さんたちと交流しながら行っているので継続して、若い力と発想を吹き込んでもらうよう努力と協力をしていく。町内情報発信として情報誌「なん・ぼん・さん」を作成している。これを継続し町内を見直しながら魅力ある町づくりをしていきたい。</p>	<p>「雁木保存・活用に関する任意協定書」 「雁木ガイドライン」を改定し、関係する世帯と協議し同意書をいただきました。</p> <p>町内の景観づくりの修景してきた地域を重点区域指定に向けて、市の都市整備課のアドバイスを受けながら、資料を作成し説明会を開き意見交換をしました。</p> <p>同意を得ることができましたので、町内広報誌で町内全住民の方々に周知しました。</p> <p>新潟県立上越総合技術高等学校の生徒さんと格子の塗装、また他の団体と協力して「青田川の灯りロード」の活動をしました。</p>
103	えちごトキめき鉄道株式会社	C-3-1	トキ鉄サポーターズクラブ	<p>○サポーター会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費を払って入会 ・会員特典は、会員証、優待乗車券、情報提供の付与、協賛店でのサービス利用、雪月花乗車代割引等。 ・ポイントカードの導入。駅窓口での割引券、回数券等の購入やサポーターズクラブのイベント参加でポイント加算。ポイントは景品と交換可能。 <p>○サポート団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺等でトキ鉄のサポート活動を実施する。 ・サポーターズクラブ事務局は、サポート活動に対してクラブ会費から経費の一部を助成する。 <p>○協賛店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター会員へ、商品の割引等のサービスを提供する。 	<p>沿線人口の減少による利用者減が想定される中、トキ鉄を存続させ、安定経営を図るためには、地域の皆さまと一体となって利用促進の取組みを進める事が必要。地域の皆さまに自分たちの鉄道「マイレール」意識を持っていただき、利用促進及び沿線地域の活性化を図るため、サポーターズクラブ事業の推進を継続した。</p>
104	えちごトキめき鉄道株式会社	C-1-1 C-3-1	直江津駅自由通路を使用したマルシェの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・直江津駅自由通路を使用し、年間4回程度継続的に開催。 ・直江津商店街を中心とした出店者を募り、物販物・飲食用ブースを配置、弊社のトキ鉄グッズ販売ブース配置。 ・目玉となる企画(うみがたりとの連携など)で集客を目指す。 ・SNS等での発信でマルシェ定着を図る。 	<p>弊社本拠地である直江津は交通の要衝であり、上越地域の都市拠点の一つであることから、交流や連携を強め賑わいをつくり出す目的でマルシェイベントを開催。上越地域内の事業者からの出店を募り開催した。(新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年度は開催1回) ※弊社、施設内に「直江津D51レールパーク」を新設し、こちらで不定期イベントの開催を継続中。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
105	頸城自動車株式会社	C-3-1	乗合バス事業	<p>下記の事業の取組については、上越市次期総合公共交通計画に沿って、市と連携して取り組む予定です。</p> <p>1.計画区域 上越市全域 2.計画期間 令和2年度から令和9年度までの8年間 3.公共交通ネットワークのイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線を基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定する。 ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」等、効率的な運行形態を検討する。 <p><各種支援内容></p> <p>国 地域公共交通活性化再生法に基づく支援 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に基づく支援</p> <p>新潟県 新潟県バス運行対策費補助金交付要綱に基づく支援 新潟県生活交通確保対策補助金交付要綱に基づく支援</p> <p>上越市 バス運行対策費補助金として支援</p> <p><他団体との連携意向等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と連携し、各区総合事務所や沿線町内会、学校関係等との調整を図りながら進めていく予定です。 	<p>第2次総合公共交通計画に基づき路線バスの再編について市と連携し、下記のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行路線の一部を集落の近くを通る経路に変更し、利便性向上を図った。 ・類似系統を統合して、運行の効率化を図った。 ・次年度の変更計画に伴う停留所の新設や運行時刻・回数の見直しについて協議を実施した。 <p>公共交通の利用促進策の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合時刻表の配布や乗車体験型キャンペーンの実施 ・実証実験として、バスロケーションシステムを導入し利便性向上を図った。(市の支援により実施) ・学校や保育園へバスを持ち込みバスの乗り方教室を実施した。
106	北越急行株式会社	C-3-1	地域ローカル鉄道としての利便性向上と魅力作り	<p>ほくほく線の特徴である高速性を活かした列車ダイヤを作成し、速達性を高める。他の鉄道との接続を改善して利便性の向上を図る。地域のイベントに合わせた臨時列車や車両の増結を行い、利用者の増加に努める。地域の方々と連携したイベント列車やツアーを企画して鉄道を活用した地域の活性化を図る。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大によりイベント列車の運行や新規イベントの開催が計画通りに実施できなかった。開催されたイベント列車への参加者は予定を上回る事ができた。</p>
107	北越急行株式会社	C-3-1 C-4-1	沿線施設割引制度によるほくほく線利用	<p>ほくほく線沿線の観光施設・公共施設の協力を得て、ほくほく線利用者に対して入場料・使用料を割引する制度を沿線市町と共同で拡充していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により割引対象施設の拡充ができなかった。既存施設の割引利用者も低調に推移した。</p>
108	しゅしゅクラブ	B-2-4 C-3-1	子ども電車、子どもバスイベント	<p>◆事業の概要・・・①こども列車かこどもバスの実施(令和2年度) ②鉄道まつりでのイベント協力(令和2年度)③「乗らなくても応援する会議」の開催(令和3年度に予定)</p>	<p>コロナ禍の関係で、実施をしなかった。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の取組内容
109	JR東日本鉄道OB会直江津支部	C-1-1 C-2-1 C-3-1	鉄道を通じた街おこし	<ol style="list-style-type: none"> 五智公園にあるD51-75蒸気機関車保存清掃活動を一般市民を交え行う 10月「鉄道の日」駅前商店街協力し開催する 信越線無人駅清掃の実施 新潟県鉄道発祥の地啓蒙活動(講演等) 新潟県鉄道発祥の地石碑建立 	<p>○信越線無人駅(上下浜駅・潟町駅・土底浜駅)清掃奉仕・・・6月20日(日)・・・上下浜駅10名、潟町駅10名、土底浜駅9名で列車見張員を配置し駅前及びホーム内清掃を行った</p> <p>○D51-75清掃保存活動 R3.8.8 (日) 広報にて一般市民参加者募集を呼びかけ、小・中学生を交え蒸気機関車の仕組みを講習し清掃保存清掃活動を行った。毎年8月第一日曜日に実施日を設定し子どもたちの夏休みのイベントとして実施している。</p> <p>○歩こう会 5月22日 高田駅前一寺町通り寺院探索一南高田まで 9月25日 有馬川駅～名立駅まで沿線探索 ○新潟県鉄道発祥の地直江津 汽笛がなって135周年「懐かしの鉄道展」 8月14-15日 直江津エルマールにて実施、多数の市民の来場を得、多くのマスコミに取り上げられた</p> <p>○講演会の実施 9月12日(敬老の日)「出前制度」を活用し看護大学原准教授をお招きし「認知症」の学習会を開催</p> <p>○鉄道まつりに参加 11月3日 直江津駅自由通路にて参加。コロナ禍のため飲食は避け展示物のみ、3年ぶりの開催に多くの人々が訪れた。</p>
110	新潟青年海外協力隊を育てる会	C-2-1 D-3-1	グローバルとローカルの両視点を持つ人材紹介事業	<p>○青年海外協力隊のJICAボランティア事業に対する地域理解と支援輪の拡大 実施例:上越地区の首長に新隊員の表敬訪問</p> <p>○青年海外協力隊等のJICAボランティア事業参加者への地域協力支援 実施例:青年海外協力隊・シニアボランティアの春・秋2回の募集説明会</p> <p>○地域社会における国際理解・交流及び開発教育の推進と人材育成 例:地域の団体・学校などに出席講座の開催。地域のイベントに参加。 実施例:上越教育大学附属小学校においてネパール地震における出前講座。 ナマステ募金(賛同企業・店等150店)と共同で行っている。</p> <p>○地域社会にグローバルとローカルの両視点を持つ協力隊員を多様な価値観を持つ社会に紹介する。 例:隊員OBによる出前講座及び報告会。知識人の講演会。現職参加の説明。 実施例:募集説明会におけるOB隊員の帰国報告会。</p>	<p>コロナ禍で全ての予定が無くなる。</p>
111	株式会社上越タイムス	C-3-2 D-1-1	電子新聞版「つなぐ」プロジェクト推進	<p>電子新聞を活用した首都圏在住の上越出身者との「つなぐ」プロジェクトの展開。 紙媒体の月刊上越や通販カタログ事業に替え、電子新聞などでデジタル情報の受発信の機能性を高める。</p>	<p>交流人口、関係人口の拡大を目指し取り組んだ首都圏在住の上越出身者との「つなぐ」プロジェクトの発展系としてJネットと上越タイムスのHPを相互乗り入れ型にし、600人の会員に電子版紙面を無料購読してもらっている。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実施内容
112	株式会社上越タイムス	A-2-1 C-3-2 D-1-1	高校2年生向け地元企業ガイド発行	高校2年生向けの地元優良企業情報を掲載したガイドブックの無料配布…初回のガイドブックを令和2年1月中旬に上越3市の高校生と特別支援学校の生徒、並びに専門学校に学生計27校約3,000人に無料配布。予定を上回る53社を紹介した。前者の電子情報もガイドブックに掲載(QRコード)し、上越タイムスホームページで気軽にアクセスできるようにした。2年目は紹介企業数を増やす。	高校卒業生の地元就職とUターンを促すため、進路を考える高校2年生に高校を介して全員に地元企業ガイド「Debut!」(デビュー)を無料配布している。今年度は6,000部を発行。
113	まちづくり市民大学OB会	C-3-2 D-1-1	移住者のネットワーク化と交流の場づくり事業	事業の内容:市の担当部署と連携して、上越市に移住してきた人たちに呼びかけてネットワークをつくり不安、悩みを話し合う場や交流の場をつくります。 実施方法:広報上越を使って移住者に呼びかけて行きます。また、移住促進に関わっている市民団体にもネットワークに加わってもらい連携していきます。HPを開設してHPを活用した交流の場をつくっていきます。移住者が安心して移住できるよう移住希望者と移住者受け入れ地域との橋渡しをする中間支援組織づくりを検討していきたいと考えています。	本事業についてはコロナが収束しなかったため実施できませんでした。
114	まちづくり市民大学OB会	C-2-1 D-3-1	まちづくり市民大学事業	事業の内容:上越市が面している課題をゼミ形式で学習していきます。実施方法:年間7回程度の講座を開催して行きます。課題別にグループに分かれて課題の背景や問題点を探り改善点を話し合っていきます。女性が社会のあらゆる分野において活躍してもらうことが必要ですがこのための人材育成の計画がどこにもない現状から、女性の人材育成に関しても取り組みたいと考えています。	2020年10月開講、2021年7月修了、受講生39名。 取り組んだテーマ・地域協議会・認知症福祉・社会教育・地域の魅力盛り上げ。
115	公益社団法人上越青年会議所	C-3-2	春日山クリーンウォーク	—	春日山城跡にて清掃奉仕の実施。一袋の土を頂上まで上げ修復作業とゴミ拾い。頂上ではおもてなし武将隊と合流し清掃奉仕を共に行う。
116	公益社団法人上越青年会議所	D-3-1	Nature Quest~自然体感オリエンタリング~	—	上越市地球環境学校においてオリエンタリングやキャンプファイヤーを通じて自然と触れ合う。主体性や発想力といった子どもたちの成長を促す。
117	公益社団法人上越青年会議所	D-3-1	造形ワークショップ『つくろう!海の生きものたち~広がれ!直江津うみのまち』	—	直江津海岸の清掃活動で収集した漂着物等を利用し自分の考える海の生き物や基地、灯台などを制作する。上教大美術部と連携し子どもたちがゴミ問題について学べる機会を創出する。
118	公益社団法人上越青年会議所	D-3-1	S&クラフトin上越	—	直江津海水浴場にてサンドクラフトの作成。Nature Questからの継続事業。自主性・協調性・コミュニケーション能力の成長のためにサンドクラフトを作成する工程で目的を達成する。
119	公益社団法人上越青年会議所	D-3-1	ハジメテSDGs	—	身近な「SDGs」を気づいてもらうため、ハジメテキッチン・ハジメテクラフト・ハジメテアート・ハジメテスタディ・ハジメテステージを開催。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実行内容
120	NPO法人 日本防災用品技術研究協会	A-2-2	防災に関する製品の開発及び啓発啓蒙活動	<p>○地域組織の町内会・各種学校・フリーマーケット等における避難訓練に参加。</p> <p>○上越市総合避難に参加して、介助運搬車(手押し車)を町内等で利用していただき避難訓練に参加。</p> <p>○上越市防災会に参加して介助運搬車(手押し車)及び各種防災用品の紹介及び訓練等に参加。</p> <p>○公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)防災×ライフ研究会に参加して防災事情収集及び展示してPR活動を行う。</p> <p>○内閣府主催:ぼうさいこくたいに参加して介助運搬車(手押し車)の展示・試乗会を行い、全国各地の防災事情収集を行う。</p>	<p>主催:新潟県・(株)無印良品:新潟県防災産業クラスター形成事業 避難所体験キャンプ&いつものもしもCaravanに参加。</p> <p>主催:内閣府・第6回防災推進国民大会・ぼうさい国体 ~震災から10年~つながりが創る復興と防災力 一いつて釜石から一に参加。</p> <p>主催:公益財団法人にいがた産業創造機構NICO 防災×ライフ研究会・無印良品 直江津様での商品取り扱い相談会に参加。</p> <p>主催:上越商工会議所 「第6回ビジネスマッチング個別商談会in上越」に参加。</p> <p>主催:新潟県「防災産業クラスター形成事業」ポータルサイト掲載・動画撮影会に参加。</p> <p>主催:新潟県・公益社団法人 中越防災安全推進機構地域防災力センター 防災製品開発に向けたワークショップ燕・三条に参加。</p>
121	上越若者みらい会議	D-3-1	新道区社会人サークル設立	—	令和4年3月19日(土)17時~19時 教育プラザ体育館にて 種目/バドミントン 参加人数10名 令和4年3月20日(日)市民プラザ第三会議 かみさまとのやくそく上映会 無料 参加者25名
122	上越若者みらい会議	D-3-1	アクティブスポーツ体験&交流会	—	<p>上越アクティブパークでスケボー、BMX、ボルダリング等のNEWSポーツを体験する機会を設け、新たなコミュニティーの創出を行い交流の機会を促す。</p> <p>【日時】9月23日(木) 10:00~12:00</p> <p>【場所】上越アクティブスポーツパーク(上越ウイングマーケット内)</p> <p>【参加費】1,000円</p> <p>【対象者】上越市及び近隣住民の40歳以下の社会人、大学生、看護学校、専門学校生 【参加者】6名</p>
123	上越若者みらい会議	D-3-1	ウインタースポーツ交流会	—	<p>上級、中級、初級と、いくつかのクラスに分けて少人数グループで交流して貰う。セッション後、安塚区やウインターシーズンがより一層楽しくなる意見出しも行う。</p> <p>【日時】1月、2月の第2第4土曜日、3月の第2土曜日 ウインタースポーツ交流会:9:30~15:00 アイデア出し:15:00~16:00</p> <p>【場所】キューピットバレイスキー場</p> <p>【参加費】1,000円</p> <p>【参加者数】5回 合計 84名(うちスタッフ33名)</p>
124	上越若者みらい会議	C-3-2 D-3-1	断捨離フリマ	—	<p>①金谷山公園フリーマーケット 事業</p> <p>●開催日 5回開催 5月30日(日)、6月27日(日)、7月25日(日)、8月29日(日)、10月31日(日) 各回約40店舗の出店申込みを頂き、リサイクル品、ハンドメイド、キッチンカー等の店舗に加え、ダンスチームのパフォーマンス、サックスアンサンブルの演奏など、想像を超えた参加者を得られた。ご来場されたお客様数は1000名を超える日もあり、平均して約700名の来場者だった。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和3年度の実施内容
125	上越若者みらい会議	D-3-1	ワカサギ釣り	—	12月19日(日)野尻湖にて屋台船一艘貸し切り、18名で参加 参加費 ¥7,000 釣りがたてのワカサギを船内で天ぷらにし、参加者と交流を楽しんだ。
126	上越若者みらい会議	D-3-1	大人の球技大会	—	【日時】 3月5日(土)11時~17時 【場所】リージョンプラザ 【対象者】上越市及び近隣住民の40歳以下の社会人、大学生、看護学校、専門学校生 【参加者】 21名 【種目】バスケットボール、バドミントン、ソフトバレー 【参加費】 1,000円
127	一般社団法人 地域創生インターナショナル	C-3-2 D-2-1 D-3-2	ツリーハウスワークショップ	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 2022年に延期しました。
128	一般社団法人 地域創生インターナショナル	C-3-2	三和薬師の森再生プロジェクト	—	同上
129	Meets Festival実行委員会	C-1-1 C-2-1 C-3-2	Meets Festival開催	—	6月19日(土)20日(日)第1回開催 出店店舗数:約150店舗 協賛企業数:15社 来場者数:約6500名